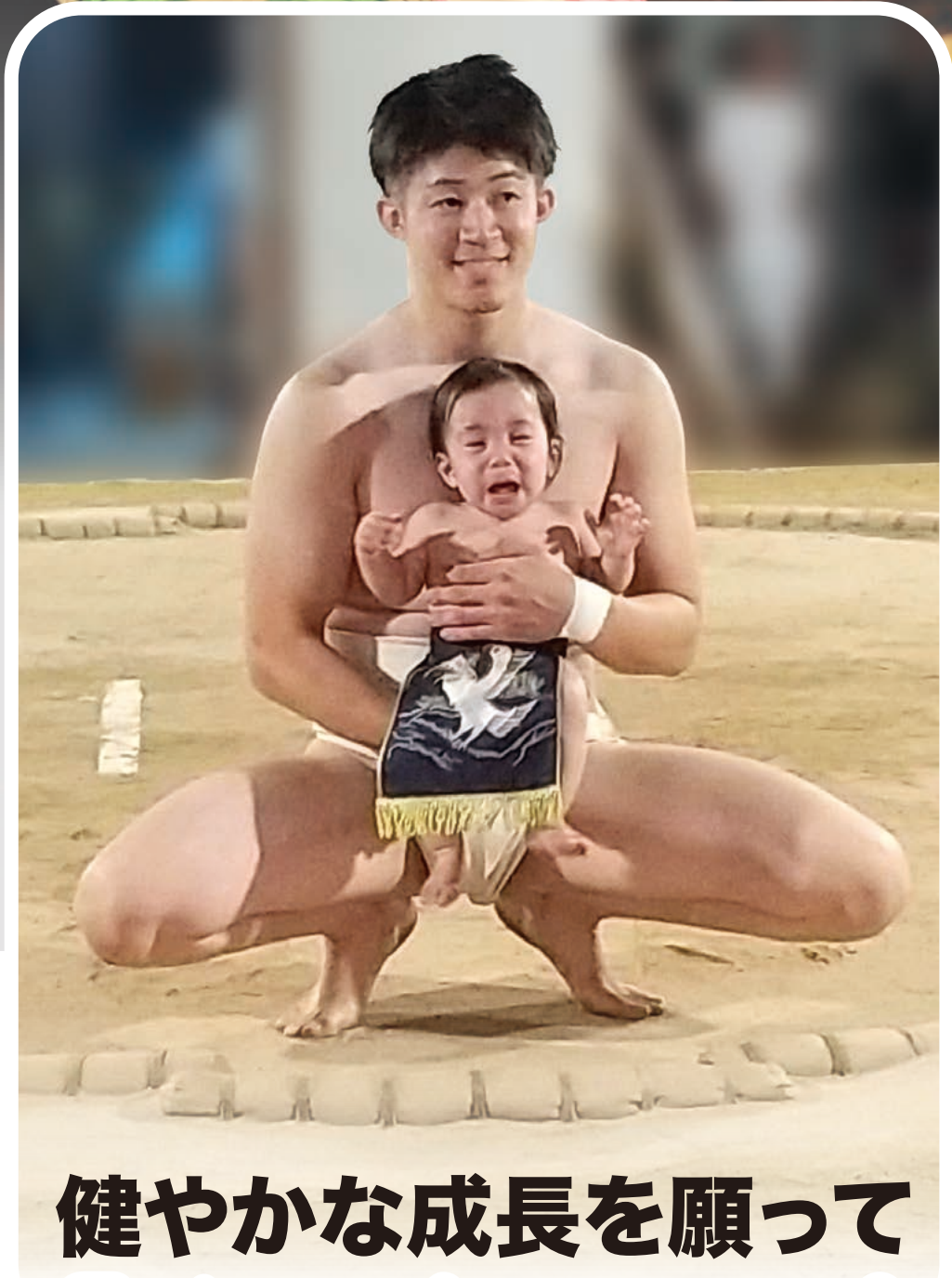


こんにちは

うみ議会 です



健やかな成長を願って

「ふいふー!!」

2023.11.15

No. 91

うみ議会だより
9月定例会

16ページに表紙関連記事を掲載

Koe Meter
声メーター 064
 実施中!
 議会広報が聞いたみなさんの声
 2022.3から

もへん

- 9月定例会 ②
- 決算審査特別委員会..... ④
- 町政を問う 一般質問6人が登壇 ⑦
- 委員会活動報告..... ⑭



動画でご覧いただけます

就学前の子どもは 医療費自己負担無料へ

9月定例会は、7日から22日までの16日間の会期で開かれました。

町長から提出された案件は人事案8件、工事請負契約変更案1件、条例案3件、予算案5件、決算認定案5件、報告1件で、すべてを原案のとおり可決しました。

また、議員発議1件を否決しました。
一般質問では6議員が10項目について質問しました。

補正予算

※万円未満四捨五入

令和5年度一般会計補正予算
(第3号)

歳入歳出それぞれ8億606万円を追加。予算総額141億2285万円。

(全員賛成で可決)

主な補正は次のとおり。

◇こども家庭センター改修工事

3740万円増額
すべての妊産婦・子育て世帯・子どもへの一体的な相談

支援を行う「こども家庭センター」を令和6年4月に開設するため、うみハピネスを改修し、相談室・親子の交流スペース・こどもみらい課の事務室を設置する。

◇保育所等給食費支援事業

・保育園、認定こども園

632万円増額

・小規模保育施設、家庭的保育施設

79万円増額

給食材料費高騰分を助成し、栄養バランスや量を保った給食の実施、保護者の負担軽減を図る。

◇地球温暖化対策実行計画

策定準備業務委託

100万円増額

令和6年度に策定予定の「宇美町地球温暖化対策実行計画」の前準備として、森林のCO₂吸収源の算定などを行う。



問 令和4年6月に宣言した「ゼロカーボンシティウミ」が、ようやく動き出した。

計画策定に向けて委員会を設置しないのか。
答 策定委員会を設置予定。

◇地域猫活動支援事業費

128万円増額

ガバメントクラウドファンディング、企業版ふるさと納税を活用し地域猫活動への支援（ワクチン接種代・不妊手術費用などへの補助）を拡充する。

問 クラウドファンディングは業者が仲介すると22%

手数料がかかる。町に直接寄附なら全額受け取れる。直接寄附してもらう手だてを考えると無理な場合がある。

宇美町では地域猫活動に取り組む団体を支援しています



答 企業に対するアプローチが重要と認識している。企業とのマッチングイベントへの参加も検討し調査研究を進める。

◇井野小学校 特色ある教育活動の推進事業

145万円増額

「VRを活用した体験学習発信プロジェクト」と題し、井野山や宇美八幡宮などを360度パノラマカメラで撮影し、歴史学習のツールを作成する。（九州電力包括協定事業）



問 成果品を町のPRに活用することは可能か。

答 担当課と協力してPR活動に使用したい。

工事請負契約変更

令和4年度宇美小学校体育館外壁等改修工事

ひび割れやモルタル浮きが予定数量より多数判明したため、工事請負額1億2298万円を1億3761万円に変更。（全員賛成で可決）

条例

宇美町子ども医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

令和6年4月1日から医療費の自己負担額を小学校就学前までは入院・通院ともに無料。小中学生は入院無料、通院月500円とする。



問 国に対して財源等の手だてを要望しないのか。

答 子育てや子どもの医療費は地域による格差があつてはならないということを発信していきたい。

賛成討論 入江 政行議員

子ども医療費の無料化は、子育て世代の切実な願いである。医療費の自己負担は、軽い負担ではないため、子ども医療費の助成拡充は必要である。

(全員賛成で可決)

宇美町運動施設条例の一部を改正する条例

町立相撲場の設置に伴い、施設の名称や利用料金などの規定を整備する。



問 多くの寄附金が集まって復活した相撲場。今後の利用促進は。

答 宇美町スポーツ協会相撲部や尾上部屋などと協力し、活用や情報発信に努める。

(全員賛成で可決)

宇美町ふるさと応援基金条例

ふるさと納税で寄せられた寄附金を魅力あるまちづくりの推進に活用するため、宇美町ふるさと応援基金を設置する。



問 毎年さまざまな目的が出てくると思うが、その目的別に基金を管理していくのか。

答 個人版ふるさと応援寄附事業の既存のメニューやクラウドファンディングのプロジェクト事業、これらの目的に沿った基金を管理していく。

(全員賛成で可決)

選挙管理委員会 委員・補充員の選挙

選挙管理委員

櫻木 幸弘 氏(再任)
村山 八重子 氏(新任)
小川 満 氏(新任)
伊豆丸 淳子 氏(新任)

選挙管理委員 補充員

林 志信 氏(新任)
池田 良治 氏(新任)
松田 久富 氏(新任)
吉本 壽絵 氏(新任)

諮問答申(適任)

人権擁護委員候補者の推薦

平島 直美 氏(再任)
吉本 壽絵 氏(新任)
(全員賛成で可決)

人事案の同意・承認

固定資産評価審査委員会委員の選任

森尾 順策 氏(新任)
(全員賛成で同意)

教育委員会委員の任命

金子 辰美 氏(再任)
(全員賛成で同意)

糟屋郡公平委員会委員の選任

城戸 清壽 氏(新任)
安倍 政明 氏(新任)
尾畠 弘典 氏(再任)
(全員賛成で同意)

自治功労者表彰候補者の推薦

土生 政勝 氏
民生委員・児童委員を令和4年11月30日までの23年間に職されたことに対する表彰。
(全員賛成で承認)

議員発議

健康保険証廃止の見直しを求める意見書

提出者 入江 政行議員
賛成者 鳴海 圭矢議員
丸山 康夫議員

反対討論 黒川 悟 議員

医療DX推進のため確実に実行するべき。

賛成討論 鳴海 圭矢議員

トラブル解消、医療現場の混乱を避けるための時間の猶予が必要である。

反対討論 安川 禎幸議員

限度額認定などの申請が必要になり、医療費適正化にも大きなメリットがある。

(賛成少数で否決)





後期高齢者医療特別会計

医療費が高い要因は

入江政行議員

問：1人当たりの医療費が県内1位の要因は。
 答：生活習慣病に起因する疾病により高額な医療費が発生しているため。



後期高齢者医療特別会計

対象者増加の見込みは

高橋紳章議員

問：団塊世代の対象者は今後どれくらいの方が対象となるのか。
 答：約2000人が対象となる。



国民健康保険特別会計

被保険者の減少による影響は

鳴海圭矢議員

問：被保険者が後期高齢者医療に移行することによる影響は。
 答：県が保険者のため大きな影響はない。



国民健康保険特別会計

医療費の動向は

小林孝昭議員

問：1人当たりの医療費は県で何位か。
 答：令和3年度では16位。

令和4年度決算を審査

私たち議員はここに注目

9月定例会において決算審査特別委員会を設置し、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに今後の予算に反映させるかなどの審査を行いました。

ここでは、主な質疑を要約してお知らせします。

決算審査特別委員会



決算審査特別委員会
丸山康夫委員長



特別会計



一般会計

決算の概要

※万円未満四捨五入

| | | |
|------|------|------------|
| 一般会計 | 歳入総額 | 150億4864万円 |
| | 歳出総額 | 142億3338万円 |

| | | |
|-------------|------|-----------|
| 後期高齢者医療特別会計 | 歳入総額 | 5億 584万円 |
| | 歳出総額 | 4億 8150万円 |

| | | |
|------------|------|-----------|
| 国民健康保険特別会計 | 歳入総額 | 43億9803万円 |
| | 歳出総額 | 43億2878万円 |

| | | |
|---------|-------|----------|
| 上水道事業会計 | 収益的収入 | 8億3233万円 |
| | 収益的支出 | 7億7317万円 |
| | 資本的収入 | 7452万円 |
| | 資本的支出 | 3億3012万円 |

| | | |
|---------------|-------|----------|
| 流域関連公共下水道事業会計 | 収益的収入 | 9億4641万円 |
| | 収益的支出 | 8億5692万円 |
| | 資本的収入 | 4億8986万円 |
| | 資本的支出 | 8億1268万円 |



一般会計

防犯灯のLED化は

黒川 悟議員

問：防犯灯のLED化の状況は。

答：交換の際にLED化するのが基本。令和5年3月末のLED化率は64.3%。



上水道事業会計

水道管の耐用年数は

高橋紳章議員

問：水道管の耐用年数は。

答：公営企業法では40年。主要な水道管は5年計画で更新している。



一般会計

特別支援学級の支援体制は

高橋紳章議員

問：特別支援学級支援員の研修は。

答：特別な研修は受けていないが、先生と連携しながら対応している。



上水道事業会計

上水道の有収率改善の取組は

入江政行議員

問：以前、有収率が低いのは漏水が原因と聞いたが、その対策は。

答：町内240kmに及ぶ水道管を計画的に調査し、令和4年度は18か所修理を行った。



一般会計

町税の今後の見込みは

鳴海圭矢議員

問：町税が前年度比3.4%増となっている。今後の見込みは。

答：個人町民税は経済が回復に向かえば増加すると考えられる。




流域関連公共下水道事業会計

下水道の接続は

白水英至議員

問：下水道工事が完了している地域で接続していない世帯への対応は。

答：さまざまな事情で未接続世帯がある。今後、未接続世帯への周知を図りたい。



一般会計

宇美町・志免町衛生施設組合浄化センターの後は

白水英至議員

問：浄化センターの搬入量の推移とセンターの今後の存続は。

答：搬入量は平成13年の2万2891トンが最大で現在は5765トン。存続については宇美町、志免町、組合3者で協議したい。



一般会計

オンデマンドバス「のるーと」の苦情は

入江政行議員

問：「のるーと」の苦情対応は。

答：月1回定例の運行会議で情報共有を行い改善につなげている。今後、検証していきたい。

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成 ×は反対を表しています

| 議案名 | 議員名 | 小林孝昭 | 安川禎幸 | 高橋紳章 | 丸山康夫 | 平野龍彦 | 安川繁典 | 入江政行 | 黒川悟 | 鳴海圭矢 | 白水英至 | 藤木泰 | 審議結果 | 討 論 |
|--------------------------------|-----|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|-----|------|--------------------------|
| 令和4年度 宇美町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | 認定 | |
| 令和4年度 宇美町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | 認定 | 反対：鳴海 |
| 令和4年度 宇美町上水道事業会計 利益の処分及び決算認定 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | 認定 | 反対：鳴海 |
| 発議第3号 健康保険証廃止の見直しを求める意見書の提出 | | × | × | × | ○ | × | × | ○ | × | ○ | × | × | 否決 | 反対：黒川 賛成：安川禎 賛成：鳴海 |

※古賀ひろ子議長に表決権はありません

全会一致で同意・承認・可決した議案

| 議案名 | 内 容 |
|-----------------------------------|--|
| 宇美町固定資産評価審査委員会委員の選任 | 新任1名 |
| 宇美町教育委員会委員の任命 | 再任1名 |
| 糟屋郡公平委員会委員の選任 | 新任2名・再任1名 |
| 宇美町自治功労表彰候補者の推薦 | 土生 政勝氏 |
| 人権擁護委員候補者の推薦 | 新任1名・再任1名 |
| 工事請負契約締結についての議決内容の一部変更 | 令和4年度 宇美小学校体育館外壁等改修工事 変更前1億2298万円 変更後1億3761万円 |
| 宇美町子ども医療費の支給に関する条例等の一部改正 | 子ども医療費の助成拡充（令和6年4月1日施行） |
| 宇美町運動施設条例の一部改正 | 相撲場の設置及び利用時間・使用料の設定（令和5年10月15日施行） |
| 宇美町ふるさと応援基金条例の制定 | ふるさと応援基金を創設し、ふるさと宇美町応援寄附金の受け入れを一般会計予算の歳入からふるさと応援基金に変更するもの |
| 令和5年度 宇美町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | 653万4000円増額し、予算総額5億5255万9000円 |
| 令和5年度 宇美町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | 4937万9000円増額し、予算総額42億9539万1000円 |
| 令和5年度 宇美町上水道事業会計補正予算（第1号） | 収益的支出2138万2000円減額し、計7億8480万6000円 資本的収入1600万円増額し、計1億5041万9000円 |
| 令和5年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算（第1号） | 収益的支出69万3000円増額し、計8億6724万2000円 資本的収入142万2000円増額し、計5億2027万1000円 |
| 令和5年度 宇美町一般会計補正予算（第3号） | 8億605万9000円増額し、予算総額141億2285万円 |
| 令和4年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定 | 収益的収入9億4640万8439円、収益的支出8億5691万7846円 資本的収入4億8986万2600円、資本的支出8億1267万7806円 |
| 令和4年度 宇美町一般会計歳入歳出 決算認定 | 歳入150億4864万2728円 歳出142億3337万7712円 |

一般質問

町政を問う 6人が登壇!

一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです。1人の持ち時間は30分です。(質問のみ、執行部の回答は除く)



丸山 康夫 議員 ————— 8P

- ◆国際交流で
次世代の宇美町を担うリーダーの育成を
- ◆学校教育施設のトイレ改修の推進は

高橋 紳章 議員 ————— 9P

- ◆子育てしやすい町を目指し
親子が集える憩いの場の整備方針は

入江 政行 議員 ————— 10P

- ◆子育て家庭の困窮対策は
- ◆マイナンバーカードの問題点にどう対応するか

鳴海 圭矢 議員 ————— 11P

- ◆ひばりが丘のり面災害復旧の展望、安全性は
- ◆マイナンバーカードと健康保険証の
一体化をめぐる当町の現状は

黒川 悟 議員 ————— 12P

- ◆宇美町が取り組むDXとは
- ◆進まない空き家対策の今後の取組は

安川 禎幸 議員 ————— 13P

- ◆自治会活動の現状と課題は

各議員の質問の様子を
動画でご覧いただけます



国際交流で 次世代の宇美町を担う リーダーの育成を



まるやま やすお
丸山 康夫 議員



録画配信は
こちらから▶

(質問のねらい)

少年の翼事業が廃止になったことに伴い、これまでに町がおこなってきた国際交流事業の検証および今後の青少年国際交流事業のあり方を問う。

問 少年の翼事業の概要は。

答 社会教育課長

特別史跡大野城跡が百済(現大韓民国扶餘)の高官の指導で築造されたことから昭和61年より扶餘と交流を開始し、平成30年までの33年間で610名を派遣、223名の受け入れを行った。

問 廃止になった経緯は。

答 社会教育課長

日韓問題の理由により、扶餘郡から当面の間、交流事業を見送る旨の申し出があり、その後、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により交流事業を廃止する旨の文書を交わし、事業廃止が決定した。

問 少年の翼事業の成果は。

答 社会教育課長

本事業を通して、コミュニケーションや語学の大切さを学んだ。韓国歴史や文化に触れ、本町との深いつながりを学んだことで愛郷心が深まったことも大きな成果と考える。

問 リーダー育成の観点から国際交流事業を計画できないか。

答 社会教育課長

宇美町の青少年が国際交流に参加する機会を提供する大切さは認識している。

問 英語圏やヨーロッパ諸国との交流を検討してよい時期と考えているが見解を。

答 社会教育課長

英語圏やヨーロッパ諸国に限らず他の地域

も含めて調査研究を進めていきたい。

問 今後の国際交流事業の方針は。

答 町長

宇美町少年の翼事業が成し得なかったものをもう一度取り戻すためにも青少年のリーダー育成事業を再構築したいと考えている。語学を身に付けるだ

けでなく、自国の歴史・文化・アイデンティティーを語れなければ意味がない。

教育委員会には、しっかりと議論・調査し方向性を出せるよう指示したい。

学校教育施設のトイレ改修の推進は



日本スポーツ少年団主催の日独スポーツ少年団交流事業で、宇美町スポーツ少年団とドイツ団が和太鼓で交流



たかはしのぶあき
高橋 紳章 議員



録画配信は
こちらから

子育てしやすい町を目指し 親子が集える憩いの場の 整備方針は

(質問のねらい)

「産み育てるなら宇美町がいい」といわれるように子育てがしやすいまちづくりのためにも、親子が安心して集える場所の実現を願い町の方針を問う。

問 団地内などにある公園の遊具や砂場の管理状況は。

答 環境課長
老朽化した遊具の更新計画は。

遊具は年1回定期点検を実施。安全確保のため部分修繕を行っている。
砂場は自治会からの要望があれば砂入れや清掃を行っており、猫などのふん尿被害については、対策用品を試験的に使用し検証していく。

老朽化した遊具は計画を立て、順次更新していく。

問 南町民センター芝生広場を開放したが、その利用状況は。また、時間や場所を拡充する考えは。

答 社会教育課長
令和5年4月から公

的・地域行事がない日曜日一般開放しており、8月27日までに合計21回実施、延べ168名が利用した。
時間や場所の拡充は、照明設備がないことや子どもの利用が多いことから安全面を考慮し、今のところは考えてはいない。

問 一本松公園猫石側キャンプ場のバンガローが使用できないのであれば、小川を含めた一帯をキッズパークに整備できないか。

答 都市整備課長
一本松公園猫石側の遊具等を含む子どもが遊べる環境整備は、局所的な整備にとどめるのではなく、一本松公園の全体的な整備が必要と考えている。

今後の整備については、時代の流れやニー

ズにに応じて、キャンプエリアや子どもが安心して自然と触れ合える遊びの環境整備等、エリアを設けて整備を進めていく必要がある。
令和6年度に基本となる計画の策定を目指したい。



一本松池広場で水遊び

問 総合スポーツ公園の南側斜面と第一駐車場を利用して子どもが遊べる公園を整備できないか。

答 都市整備課長
公園の利用形態は陸上競技やサッカー等の

球技に利用されており、駐車場は利用者の利便性を図る重要な施設であり、その駐車場に隣接する南側斜面は子どもへの安全性を考えると整備は難しい。

問 総合スポーツ公園の観覧席や競技場の周りに日よけが一切ない。小さな子どもと一緒に過ごせるように日よけ対策ができないか。

答 社会教育課長
熱中症の問題もあるため、日よけ対策の必要性があると認識している。



いり え まさゆき
入江 政行 議員



録画配信は
こちらから▶

子育て家庭の 困窮対策は

(質問のねらい)

コロナ禍で蓄えも底をつき、さらに物価高騰の影響で生活が困窮している「困窮子育て家庭」への支援対策を問う。

問 町として、子育て家庭の困窮状況を把握しているか。

答 福祉課長

子育て家庭の困窮者に関する具体的な定義等がされていないため正確な把握はできていない。

町では、ひとり親家庭、母子・父子家庭等を対象とした児童扶養手当の受給者を把握しており、現在460人の方が対象となっている。その中で年収300万円以下(所得で200万円以下)になる方が360人いる。このうち、同居家族の支援や養育費等の有無を加味すると実際の困窮者数はさらに少なくなると思われる。

問 家計が厳しくなつた中で、1人当たりの食費が月1万円以下

(1食当たり110円以下)の家庭が4割となり、週2・3日食事を抜くなど、栄養バランスの良い食事を与えられず、栄養失調を心配する声や、熱中症など健康被害の広がりが多くあり、危険な状況と指摘されている。

町として対策は考えているか。

答 福祉課長

当課の窓口では、県が支給する児童扶養手当の申請対応、生活保護や各種支援の相談業務を行う。

答 住民課長

ひとり親家庭等に対する医療費の支援を行う。

答 こどもみらい課長

保健師や養育支援訪問員による家庭訪問、乳幼児健診により、母子の健康状態のほか、生活の様子、経済的不

安がないかなどの相談支援を行っている。

答 学校教育課長

就学援助事業として小中学校に入学する際の学用品代として就学援助費の支給や教育相談などの支援を行っている。

問 自治体は困窮家庭

の実態を早急に把握し、現金給付や食糧支援、無料で涼しく過ごせる居場所や学習スペースの確保等対策を講ずることが急務である。

町として対策は考えているか。

答 福祉課長

町独自で、長期的な対応・対策は、人員や予算的に困難である。しかしながら、子育て家庭の困窮対策は、就労支援・教育支援・生活支援・経済的支援の4つの支援が総合的に必要

である。

町としてもさまざまな事業を行い、今後とも国・県の動向を鑑みながら、国レベルの事業の拡充と周知の徹底を図ることが必要不可欠である。



マイナンバーカードの問題点にどう対応するか



なる み けい や
鳴海 圭矢 議員



録画配信は
こちらから

ひばりが丘のり面 災害復旧の展望、安全性は

(質問のねらい)

令和3年8月の大雨により被災してはや2年余りが過ぎた。度重なる工期の延長により地元の不安・不満の声があり、復旧の展望を問う。

問 本年7月の大雨による、ひばりが丘のり面崩壊の経過と現状は。

答 都市整備課長

7月8日から10日にかけての大雨で新たな湧水箇所が発生し、のり面崩壊が拡大したと考えられる。

なお、崩壊直後に大型土のうを設置し町道部への土砂流出対策を実施した。

問 復旧の用途は。
答 都市整備課長

今回の崩壊を受けて新たな湧水発生等が想定されることから福岡県と協議し、原形復旧にこだわらず形状変更も含めた工法の再検討を行う。

問 復旧の予算についてはどうなるのか。
答 都市整備課長

これまでで完成して

いるところまでを令和3年度災害復旧事業として国に補助申請を行っている。今回崩壊が拡大した箇所から今後施工を予定していたのり面を含めて令和5年度新規災害申請を行う予定。

問 住民説明会等、地元への周知はどうか。
答 都市整備課長

ひばりが丘の住民には崩壊直後に閲覧板で周知した。工事が再開したら適宜、広報やホームページにて情報を発信していきたい。

問 町道の安全性を確保できるのか。
答 都市整備課長

崩壊した箇所については、のり面の安定計算を行った上で安全率を考慮した設計をする。

復旧工事完了後も安心して利用できる町道造りに努めていきたい。

問 のり面崩壊に樹木の伐採が影響しているという意見もあるが。
答 都市整備課長

のり面保護の観点から自然発生の樹木の伐採を行った。直接の原因とは今のところ考えにくいと判断している。

問 以前、志免町桜丘につながる道を開放で
.....
マイナンバーカードと健康保険証の一体化をめぐる当町の現状は

きないか質問したが、その後の進捗は。
答 都市整備課長

令和4年3月議会後に今回の災害を踏まえ、緊急時の開放を志免町と協議し、桜丘に要望したが、地元の合意を得ることができなかった。



崩壊した ひばりが丘のり面

宇美町が取り組むDXとは



くろかわ さとる
黒川 悟 議員



録画配信は
こちらから▶

(質問のねらい)

デジタル技術を活用し、どのように行政サービスの利便性を向上させるのか、行政事務の効率化を図るのか、宇美町の自治体DXの取組を問う。

問 当町のデジタル化の現状は。

答 総務課長

国が指定した行政手続きのオンライン化を進めるとともに、町独自の取組として、ペーパーレス会議システムやウェブ会議システムの推進。また、AIを活用した「のるーと」導入などデジタル田園都市国家構想に寄与する取組も行っている。

問 書かない窓口、行かない窓口の推進は。

答 総務課長

書かない窓口は、マイナンバーカードから電子的に住所・氏名生年月日・性別の4情報を読み取ることに合わせて、職員がヒアリングすることにより、来庁者の書く手間を省略できるもの。

行かない窓口は、オ

ンライン申請、リモート窓口、移動窓口などがあげられる。

何が取り入れ可能か庁内担当部会で検討する予定。

問 当町が目指すDXとは。

答 町長

デジタル技術はあくまで手段、町民の生活をあらゆる面でよい方向に変化させることが目的。

業務の効率化・手続きの簡素化を進め、職員の人的資源を確保し、行政サービスの質の向上を図ることが重要。

まずは、行かない窓口を優先し、所得証明もコンビニで取得できないか調査研究したい。

進まない空き家対策の今後の取組は

(質問のねらい)

第7次総合計画の施策の方向性に空き家対策の推進とあるが、危険な空き家がなかなか改善されない状況である。法律の一部改正に伴う今後の取組を問う。

問 空き家対策特措法が改正されたが今後の対応は。

答 環境課長

放置すれば「特定空き家」となる恐れがある空き家を「管理不全空き家」として指導・勧告できる。勧告した場合、固定資産税の住宅用地特例が解除される。

所有者に冊子を配布し危険な空き家の増加防止を図る。

問 空き家対策の強化について町の考えは。

答 町長

指導強化と代執行制度を実施するための体系づくり、空き家等活用促進区域を指定し建て替えを促進することが重要。

また、空き家バンクなどを活用し移住定住者を増やしたい。



やすかわ よしゆき
安川 禎幸 議員



録画配信は
こちらから

自治会活動の現状と課題は

(質問のねらい)

近年、自治会を巡る状況は大きく変化している。また、自治会加入者の減少や役員の担い手不足等、さまざまな問題が発生している。自治会活動の現状と課題を問う。

問 現在の自治会数、自治会加入世帯数は。

答 地域コミュニティ課長

平成29年に井野と新井野が合併し、現在は48自治会となっている。自治会加入世帯は12088世帯で加入率は74.9%。

問 就労年齢が上がり定年後も仕事をする人が増加しており、自治会役員のなり手が減少している。自治会役員の業務を軽減するため役場の自治会に対する窓口を一本化できないか。

答 地域コミュニティ課長

自治会側の混乱を避け、窓口の利便性と役場内の事務手続きの煩雑さを減らすことにもつながるため、窓口一本化に向けた

協議を進める。

問 自治会からの書類の提出をメール等のオンラインで行えないか。

答 地域コミュニティ課長

自治会長の印が必要でないものは電子メール等で提出が可能。交付金や補助金の申請は自治会長の印が必要なため、書面の提出を求めている。

今後のオンライン化については、書類提出先の部署や自治体DX担当課と協議を行う。

問 自治会の合併について町の考えは。

答 地域コミュニティ課長

合併は自治会同士の合意形成が必要。合併により大きな規模になることで、それまで取り組めなかった

問題解決が図れるメリットがある。合併の相談等あればサポートを行っていく。

問 自治会の合併に対する支援体制とインセンティブは。

答 地域コミュニティ課長

合併の際は、宇美町自治会合併補助金交付要綱に基づき補助金を交付する。

当課では合併等についての相談体制を整えている。

問 自治会、地域コミュニティの将来像は。

答 町長

アフターコロナを見据えて地域コミュニティを次のステージに引き上げたいという思いから「地域コミュニティ課」を創設した。地域活動、町民活動が活発であるという宇美町の特性を生かして、自治会やコミュニティ運営協議会等と力を合わせ、共働して魅力ある宇美町をつくってきたい。



大いに盛り上がった原田下自治会夏祭り



8月21日(月)、宇美町消防団の団長・副団長をはじめ、各分団長と当委員会で消防懇談会を開催した。

消防団のなり手不足は、全国で深刻さを増している。団員は本業を持ちながら、非常勤特別職の地方公務員として活動されている。そこで今回は、「消防団の現状について」をテーマとして、宇美町消防団の声を聴くことを目的に座談会を開催し、熱く意見交換を行った。

【質問事項】

- 各分団の団員数と実動団員数は
- 消防団員確保のためのPR活動は
- 地域活動への参加は
など



【活動内容】

- 定期的な水利・機械器具の点検
- 地域の夏祭り等の警備
- 小学校等の夏休み中の地域巡回
- 団員募集ののぼり旗を作成
- 消防団に対するアンケートを実施
- 団員募集チラシを自治会で回覧してもらう
など



消防団三役、分団長の皆さんありがとうございました。
当委員会は、消防団とともに防火・防災体制づくりに取り組んでいきます。



消防団員 募集

自分たちの町は自分たちで守る

宇美町消防団では地域の皆さんと
防火・防災活動に取り組んでいます。

Topics 宇美南中学校 学校訪問



7月11日(火)、宇美南中学校の学校訪問を行った。宇美南中学校は「志をもち、宇美町の未来を創る生徒の育成」を目標に掲げ、校訓である「向学」「自立」「友愛」を通じて、創意工夫しながら教育の実践を行っている。

はじめに、複数の授業を見学した。生徒のやる気を引き出すような仕掛けが設けてあり、校内で統一した取組がなされていた。授業終了後は学校長や先生方と意見交換を行い、学校現場の現状を再確認する機会となった。

本町の教育環境を整えるため、本委員会では引き続き調査研究を行っていく。

Topics 医療費適正化に向け「大腸がん検診」を推進

健康課医療費適正化推進室 報告

本町の国民健康保険および後期高齢者医療の1人当たりの医療費は、長い間、県内自治体の中でも上位にある。その要因や医療費適正化に向けた取組について、幾度となく質疑を行っている。これを受け、町は本年7月に実施した機構改革で医療費適正化推進室を発足させた。

今年度、本町の国民健康保険は高医療費市町村に指定されている。70～74歳の1人当たりの医療費が増額し、とりわけ大腸がん等が県と比較して特に高く、医療費の増加が顕著であることから、早期発見により医療費の高騰を防ぐ見込みのある大腸がんに絞り検診受診勧奨を行う。

本委員会としても、医療費は保険料の増額に直結し、町民生活に影響を及ぼすため、今後も医療費適正化に向けた事業の効果・展開に注目していきたい。



大腸がん検査キット

… 議会改革調査特別委員会 …

Topics 議員報酬改定の論議が始まる

令和3年3月に「議員定数削減に関する請願」を受理したことをきっかけに、議員定数条例を改正し、令和4年3月6日から議員定数を2名削減した。その請願の理由の中に、「議員のなり手不足解消のため、2名分の報酬を原資に議員報酬の増額の検討を」とあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により町民の生活が苦しい中、議員報酬の見直しを検討することは保留となっていた。

全国の地方議会でも立候補者の減少や若手議員・女性議員のなり手不足は問題となっており、近隣自治体でも報酬の改定が行われている。

これらの状況を踏まえ、8月から本委員会を開催し、議員報酬の改定の必要性及び政務活動費の復活について議論を始めた。

議会広報

インタビューシリーズ 第10弾

表紙にも掲載しています

子どもたちの笑顔とそれを支える方々に
スポットを当てていきます



寺坂昌美さんは宇美町青年団では初の女性団長として、奉納相撲大会を成功させようと頑張ってきました。

「近隣から多くの参加があったことがうれしかったです。町立相撲場も新設されたので、歴史ある奉納相撲大会を来年以降も続けていきたいです」と話されました。



青年団役員による三役そらい踏み



青年団副団長の吉田周平さんによる弓取り式

4年ぶりの奉納相撲大会

宇美町青年団が新築された町立相撲場で、宇美八幡宮仲秋祭奉納相撲大会を開催しました。

若者の力強い取組と、「赤ちゃんの土俵入り」で会場は大いに盛り上がりました。



奉納相撲大会には、久山町、新宮町、飯塚市、粕屋南部消防署、青年団OBチームが参加しました。



最後は、今年生まれた赤ちゃんの土俵入り。赤ちゃんの健やかな成長を願い、大関の吉田さんへ赤ちゃんを託す寺坂さん。

宇美町青年団は、現在15人で頑張っています。私たちと一緒に宇美町を盛り上げていく新入団員を随時募集しています。

☎ 社会教育課 ☎933-2600

議会傍聴メーター Gikaiboutyou Meter

2022年3月議会からの傍聴者 累計 ▶ 191
9月定例会は11人が傍聴に来られました

191

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫
副委員長 鳴海 圭矢
委員 入江 政行
委員 高橋 紳章
委員 安川 禎幸
委員 小林 孝昭



議会からのお知らせ

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)

定例会が開かれます。

議会ホームページからは本会議の生中継がご覧いただけます。

傍聴する場合は、役場3階の傍聴席入り口で住所・氏名を記入ください。

次回の議会は
12月7日に開会予定です。